

2022年度(令和4年度) 新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか				
	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	66.67	33.33	0.00	0.00
女子	28.57	42.86	28.57	0.00

体育の授業は楽しいですか				
	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	88.89	11.11	0.00	0.00
女子	42.86	57.14	0.00	0.00

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)				
	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	77.78	22.22	0.00	0.00
女子	42.86	42.86	14.29	0.00

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	15.56	19.78	32.89	37.33	56.44	9.39	139.00	24.44	52.67	女子	15.43	16.43	37.71	29.00	33.00	9.81	138.57	10.14	48.71

県平均値(R4)かつ全国平均値(R3)未滿

重点課題および要因

情意面

運動やスポーツをすることがやや嫌いと回答している女子児童が28.57%いる。  
要因として、運動が好きでないため自発的に運動をしていないことが考えられる。

体力面

県平均値と比較し、一番差が大きかったのは男子は立ち幅跳び、女子は反復横跳びであった。  
瞬発力を鍛える遊びの経験が少ない。また、ドッジボール・ブランコなど遊びが固定されていることも要因だと考えられる。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

準備体操の中で瞬発力や体幹を鍛える運動を取り入れる。  
鬼ごっこ遊びを5分間取り入れて瞬発力を鍛える。

体育の授業以外で行う取組内容

楽しみながら瞬発力を高める為にケンケンパ遊びができる場を作り、体幹や瞬発力を鍛えていく。また、学級遊びを設定し、週1回程度クラスみんなで遊ぶなど運動が楽しいと感じる場を設定する。  
4年生が総合的な学習の時間で考えた「体力アップ運動」をする期間を設定し、4年生中心となった体力づくりを推進する。

2023年度(R5年度)の重点目標値

「反復横跳び」「立ち幅跳び」を県平均以上にする。